



くまがい市議、第2回定例議会で質問

地域衰退を防ぐ公設塾の充実を

塾「講師の欠員補充・継続」 「コロナ対策」・「魅力発信」を

6月9日から17日まで、2020年第2回定例市議会において、くまがい桂子市議が「公設塾キセキノについて」質問をお伝えします。



今回は「公設塾夕張学舎キセキノ」について次の5点の質問をしました。

1、「講師の欠員について」
「講師の先生1名の欠員が募集をしているがなかなか決まらない」という回答でした。

2、「講師の継続について」
現在の講師の先生は地域おこし協力隊最大限の3年目となり、来年度以降どうするか検討中という回答でした。

3、「新型コロナによる閉塾への対応策について」
塾生全員がタブレット端末で家庭学習に取り組めるよう要望しました。

4、「塾の魅力発信について」
現在、市のホームページや公設塾のフェイスブックなどで発信中であり、発信方法の充実を検討中との回答でした。

5、「塾の有用性について」
令和1年度、大学進学を希望する塾生全員が大学に入学した。また、夕張高校生の25%の17名が入塾するなど、高校生や保護者からの期待は相当あるとの回答でした。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

3、「新型コロナによる閉塾への対応策」について
塾生全員がタブレット端末で家庭学習に取り組めるよう要望しました。

4、「塾の魅力発信について」
現在、市のホームページや公設塾のフェイスブックなどで発信中であり、発信方法の充実を検討中との回答でした。

5、「塾の有用性について」
令和1年度、大学進学を希望する塾生全員が大学に入学した。また、夕張高校生の25%の17名が入塾するなど、高校生や保護者からの期待は相当あるとの回答でした。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

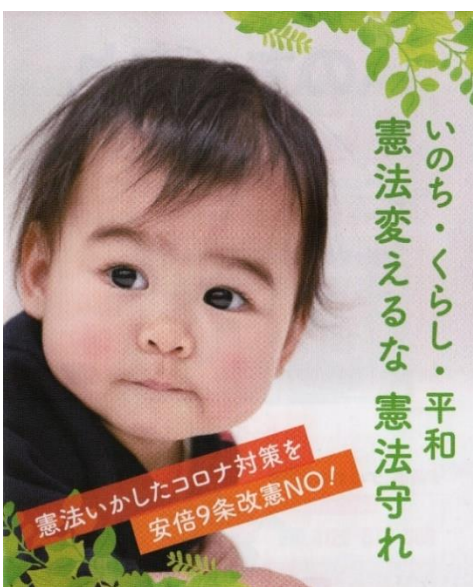
今回の質問では、公設塾キセキノについて、
1、講師の補充
2、講師の継続
3、コロナ対策
4、魅力の発信
5、塾の有用性
について、市長の見解を改めてうかがってきた訳ですが、2018年の開塾までの歩みとして、財政破綻以降、人口流出が止まらず、子育て世代が充実した教育環境を求め、小・中学校時代から他市町村へ転出する動きが開始されるとともに、夕張高校に入学する生徒が減少し、高校存続の危機にも直面してきた経緯があります。

「安倍9条改憲NO!」 ハガキ署名にご協力を

「安倍9条改憲NO!」全国市民アクションは今年1月、「9条改憲発議をさせない新署名」に、全国で取り組むことを呼びかけました。

国会で発議される、TVのCM等巨額の広告費が使われ、世論を操作されることが懸念されています。

夕張でもこの署名に取り組んでいます。が、新型コロナウイルスの影響で、戸別訪問が難しいため、署名の数が伸びていません。



いのち・くらし・平和
憲法変えるな 憲法守れ

憲法いかしたコロナ対策を
安倍9条改憲NO!

くずさんの 夕張歴史散歩(138)

明治維新 52 / 朝鮮植民地支配 ③

土地の収奪(その2)

1910年(明治43)の「併合」前までは、日本人の土地所有に一定の制限がありました。だが、これら非合法に手に入れた土地も「土地調査事業」によって所有権も認められ、強大な地主となっていました。

水利組合事業を押し付け

この区域内に住む農民たちは、高い事業費の負担を強要されます。この負担に耐えられず借金がかさみ、ついには自らの土地を大地主に買収されていきます。元々土地を持たない農民は、高い小作料地獄におちいります。

紛争をめぐっても

これらの土地収奪をめぐっても、耕作権をめぐってもしばしば紛争がおきました。しかしその解決には、朝鮮人農民の主張を通じることが、ほとんどありませんでした。

朝鮮に日本人大地主出現

こうして日本は総督府という権力のもとで、朝鮮の土地をあの手の手を使い、だましと暴力で奪い取り、大地主制度を作ったのです。代表的な大地主は「朝鮮総督府」と「東洋拓殖株式会社」(国策会社・初代総長に宇佐川一正陸軍中將)といわれています。



はたやま和也「かけある記」
前衆議院議員
はたやま 和也

十人十色の日本共産党

札幌市内を中心に、感染拡大防止に気を付けながら後援会員・支持者のお宅を訪れています。玄関の戸が開くと、まず地元の黨員さんへ「元氣そうだね」と笑顔が向けられます。地域のつながりの大事さを実感します。

車で移動中には「次に行方は、この間まで体の調子を悪くしてたんす」などの話があったり、安倍政権のひどさに話が盛り上がり、お孫さん自慢が始まったりと、黨員さんも個性それぞれ。「高齢になって歩くのも大変になってきた」という方が、次々と近所を訪問される姿に、私もがんばらなければいけないになります。

新型コロナウイルスの収束が見通せないもと、これまでの社会や人との接し方も変わらざるを得ないと思います。安倍政権のコロナ対策が遅かったり不十分ななか、無料の食事や手作りマスクの配布など、支えや救援の活動が広がりました。労働組合や団体の相談活動も続いています。つながることの大切さを学んだ今、日本共産党が地域・職場・学園で活動している意義は大きいのです。

「国民が主人公」平和な日本を「同じ根っこを持ちつつも、歩んできた人生は違うし、得意なことや苦手なことも人それぞれの日本共産党。河合夫妻の逮捕のように金の力で政治や地域を汚すのでなく、多様に結びつくもとで政治や社会にわたたかさをつくろう」というのが日本共産党。十人十色の日本共産党だからこそ、新しい社会をつくれると確信しています。